



五中だより

第十二号

山形市立第五中学校

平成三十年三月十五日発行

「慣れることについて」



この帽子を見て下さい。この帽子は、カウボーイハットのようには見えませんが、実はボーイスカウトの帽子です。今から丁度三十年前に買いました。主に何に使ったかという点で、学校の宿泊学習で、登山やスコアオリエンテーリングなどをする時にかぶって行きました。日よけになつたり、雨よけになつたり、時には野外炊飯の時、雨の代わりにもなりました。とても役に立った帽子です。ここ数年は、学校現場を離れていたもので、宿泊学習に行く機会はありませんので、モンテディオの試合を見る時、雨の日は、雨よけに必ずかぶっています。

今年の二月五日月曜日の朝、傘をさそうか、さすまいか、迷う程度の雪が降ってしまいました。傘を差して歩くと快適に歩けないので、この帽子をかぶって朝の散歩に出かけました。この帽子の五中学区初登場の朝です。帽子の反響を見て生徒の皆さんの反応は、何となく「変な帽子」といふ反応で、驚くというよりは、「何これ」といふクスクスとした笑い、あいつを返してくれた人もいました。翌日も、次の日も、同じように、この帽子をかぶって散歩をしました。二日目、三日目となると、「変な帽子」という反応はほぼなくなり、心の中では「変な帽子」と思っています。表情に表すほどではなくなつたという人もいたと思います。なぜ、一日目のような「変な帽子」という感情がなくなつたのでしょうか？

たぶんそれは「慣れてきた」からだと思えます。この「慣れる」という力は結構すごい力で、人間の持つ順応する力です。例えば、見知らぬ土地で暮らせば、見るもの、聞くもの、初めのことば、戸惑ってしまひ、不安だとは思ひます。前に住んでいた場所から帰りたいと思ふことも当然あります。

でも、しばらく暮らすと、慣れてきて、同時に不安もなくなつてきます。第二、第三の故郷にさえなつてしまひます。

差別や偏見も、この「知らないこと」や「はじめて出会う」ことから生まれることもあると思ひます。私が小さかった頃、車いすの方や障がいを持つて居る方を見ることはほとんどありませんでした。そのため、必要以上に注目してしまつたり、逆に知らないふりをして見ないようにしたりすることが多かつたと思ひます。

当時は、まだ、障がいのある人を、隠すような風潮があつたと思ひます。今は、「障害者差別解消法」や「山形県障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」など積極的障がいに対する差別をなくそうといふ動きがあります。普段生活して居る中で、障がいのある方を見かけたり、交流したりする機会も格段に多くなりました。別の言い方をすれば、障がいのある方に対しても、特別な意識でなく、普通に対処できるようになつていきます。これも、ある意味「慣れる」といふことの成果ではないでしょうか？

同じように普通になつてきたことの一つに、外国の方への見方があります。この山形でも、かなり多くの外国の方が生活をしたり、仕事をしたりしています。そのため、普段の生活の中で、外国の方と出会う機会も多いので、特別な反応を示すことはなくなつてきています。これも、「慣れる」ことによるものと思ひます。

差別や偏見をなくすためには様々な取り組みがありますが、自ら積極的に関わつて、積極的に慣れるという方法も「あり」だと思ひます。

一方、「慣れ」で気をつけなければならぬのは、マイナス面にも慣れてしまふと言ふことです。

例えば、贈収賄事件（国や県から仕事を優先的にもらうために、企業等から国や県の関係者に賄賂を送つて仕事を獲得する犯罪）の背景には、仕事を獲得するためには賄賂は当たり前という「送る側」の体質や、バレなければ何とかなるといふ「もらう側」の体質があります。悪いことを悪いと思わなくなつてしまつた体質の根底には、マイナス面の慣れがあります。

皆さんにも、マイナス面の「慣れ」になつて欲しくないのです、ここで、一つ厳しいことを言ひます。

「授業の始まり」と「授業の終わり」のあいさつはどうでしょうか？ 校内を回つていて気になるのは、まだまだ元気のない、声の小さいあいさつ、前のクラスが多いです。元気がないのが当たり前、声が小さいのが当たり前、前のマイナスの慣れになつてしまふか、是非、元気のよい、大きい声が当たり前、プラスの「慣れ」を期待します。

(学校長 阿部 善和)

《地域の皆様へ》
一年間にわたる、学校だよりの校長の話をご覧いただきありがとうございます。保護者の方からも「毎回読んで居るよ」といふ声を複数いただきました。感謝しています。

卒業生からの感謝の会

生徒代表のお礼の言葉



3組 對知 功礎さん

三月十四日(水)昼休み
 三学年の代表八名により、職員室で
 お世話になった先生方への感謝の会
 が行われました。
 松田晃太さんが進行役を務め、学
 年生徒を代表して、對知功礎さんが
 お礼の言葉を述べました。
 その後、六名の教職員代表の方々へ
 お礼の一言を添えて、花鉢を送りま
 した。卒業生のみなさん、大変ありが
 とございました。

- 代表生徒(八名)のみなさん
- 代表 三組 對知 功礎さん
 - 進行 四組 松田 晃太さん
 - 一組 片桐 将さん
 - 二組 川越 幸心さん
 - 三組 會田このみさん
 - 四組 小野 佑太さん
 - 五組 小関健太郎さん
 - 六組 半田 乙姫さん



職員を代表して、阿部校長先生よりお礼の言葉



「代表あじき」

「この三年間、私達は多くの先生方に支えられてきました。私たちが今こうして立派に卒業できるのも先生方のおかげです。ありがとうございます。先生方は、いつも私たちを見守ってくれました。私達は、基本的には自分たちで考え行動してきました。ですが、自分たちで問題を解決することができたのは、先生方がその「場所」を作ってくれたからです。先生方が作ってくれた場所は、いろんな人が生活するまさに十人十色の空間でした。私は、そんな場所が大好きで二年間の中学校生活はとても楽しかったです。(中略)真っ白な中学校生活というキャンバスを色彩かに色どった思い出が頭をよぎる度に思います。「卒業したくない」。(中略)私たちにたくさん思い出をくれた先生方にお礼を言いたいと思います。三年間という長くも短い間、私達を支えてくれてありがとうございます。」

(對知功礎君の原稿より)

平成二十九年年度

「富田奨学会」表彰 本年度受賞者

- 國井信之介(第三八〇号) 長瀬穰一郎(第三八一号)
- 丸子 大輝(第三八二号) 村山 佑月(第三八三号)
- 工・伯 (第三八四号) 山科 知子(第三八五号)
- 櫻井 伸吾(第三八六号) 安達 千陽(第三八七号)

富田奨学会規約

第一条 本会は、山形市立第五中学校初代校長 富田松喜氏

寄贈の基金運営により、同校生徒の奨学育成を助成し、日本国民として有為なる人材の育成を目的とする。

- ・三年間、心身共に健康で、人物に優れ、仲間の模範となり、また、学級、学年、学校のために尽くした生徒。
- ・意欲的に学業に励み、学業に精励し、成果を上げ、その努力顕著なる生徒。
- ・研究心旺盛で、各種作品の成績優秀な生徒。

平成二十九年年度

「体育文化活動後援会」表彰 本年度受賞該当者なし

体文表彰規約

スポーツ、文化の活動に於いて、功労顕著な生徒を表彰する。

○体育スポーツ関係 中体連東北大会三位以上の成績を収めた生徒

○文化関係 県審査を経て、東北、全国の審査で入賞した生徒

および、これに準ずる生徒

躍動 五中生

第六十三回山形市小中学校書き初め展覧会
山形市議会議長賞 鈴木詩織 一年

金賞

入選

石澤 愛	二年	土井 文愛	二年	津藤 美優	一年
澤田 爽	二年	佐藤 聖空	二年	石山 美佳	一年
工藤 紗貴	二年	大谷 明日香	二年	井上 茉尋	一年
藤田 杏音	一年	永澤 結愛里	二年	鈴木 菜々美	一年
		桂 佳恵	二年	結城 悠花	一年
		今 心裕	二年	柴田 ひなの	一年
		黒坂 杏実	二年	村形 歩美	一年
				田口 未来	一年

平成二十九年三十年度山形県中学校体育スポーツ優秀指定選手

ソフトテニス	高梨 翼	二年	吉田 雷蔵	二年
バレーボール	會田ななみ	二年	新関日愛里	二年
水泳	鈴木 優太	二年	北澤 怜朗	二年
剣道	多田 明希	二年		
野球	板垣 涼太	二年		
バドミントン	山路 徹	二年		
陸上	鈴木 結羽	一年		
スケート	倉田 知悟	一年		

第四回全国小中学生福祉ふれあい作文コンクール 入選 山科 知子 三年

第四十六回山形県児童生徒作曲コンクール 佳作 小笠原友理 三年

東北春季ジュニアテニス選手権大会山形県予選会

優勝 江口 輝 三年 十六才以下男子シングルス

第四十八回山形県中学校バレーボール選抜大会

優勝 女子バレーボール部

第三十二回ジャワ杯山形地区中学生バドミントン選手権大会

優勝 山崎 陽真 相馬 悠人 一年生男子ダブルス

第三位 戸田 日和 二年生女子シングルス

第三十八回ホームソーイング小中高校生作品コンクール

優秀賞(中学生の部) 五十嵐 美音 三年 神田 侑果 三年

「新しい校舎をきれいなまま後輩に引き継ぐ」

五中新校舎で恒例になった、「全校一斉清掃」を三月十三日に行いました。今年一年お世話になった教室を、次の学年にきれいな状態で引き継げるよう、床の汚れをきれいに拭き取り、教室の隅々やドアのレールなども黙々と磨き、ロッカーや机の中など普段の清掃以上に力を入れて清掃を行いました。

今年度、新校舎での学校生活も四年目に入りました。旧校舎で生活したり、引越しを経験したりした生徒はいなくなり、新たな歴史と伝統の第一歩を築いてくれた三年生。校舎という形あるものだけでなく、見えないものもしっかりと受け継いでいけるよう、一・二年生も頑張りたいと思います。



これからの主な予定 四月

- 六日(金) 新入生登校日(午前)
- 七日(土) 新任式 一学期始業式(午前)
第六十八回入学式(午後)
- 九日(月) 七日の振替休業日
- 十日(火) 学年開き 生徒会新入生歓迎会
生徒会任命式
- 十一日(水) 部活動説明会
- 十二日(木) 学力テスト 駅伝壮行式
- 十三日(金) 身体測定 顔写真撮影
給食開始
- 十四日(土) 市中駅伝競走大会
PTA全体会・常任委員会
- 十六日(月) 十四日の振替休業日
- 十七日(火) 全国学力・学習状況調査(三年生)
山形県学力等調査(二年生)
- 十八日(水) 駅伝収納式 交通安全教室
- 二十日(金) 町区班会
- 二十二日(日) 授業参観 PTA総会
部活動保護者代表者会
PTA歓送迎会
- 二十三日(月) 二十二日の振替休業日
- 二十五日(水) 避難訓練
- 二十七日(金) 生徒総会